

平成22年4月30日

報道関係者 各位

認定NPO法人マナーキッズ®プロジェクト

## 品川区立幼稚園・小学校・中学校におけるマナーキッズ教室の展開について

認定NPO法人マナーキッズ®プロジェクト（理事長：田中日出男）は、品川区教育委員会（教育長：若月秀夫）と協働して、平成22年度については、11小学校、3中学校、3小中一貫校計17小中学校、約3,100名を対象に「市民科」の授業として、下記の通りマナーキッズテニス教室を開催することに致します。

品川区教育委員会としては、予算化の上、認定NPO法人マナーキッズプロジェクトに、「市民科」の授業の一部を業務委託するものです。平成21年度に試験的に開催したマナーキッズテニス教室が好評だったこととマナーキッズプロジェクトの「行為を通して態度が変わる」という手法に興味を覚え、対象を拡げるものです。

日本の教育現場の実態は、子どもの自主性という言葉に任せ、確実にこれからの社会を「生き抜く力」を身に付けるまでに至っておりません。品川区教育委員会と認定NPO法人マナーキッズプロジェクトとの協働（コラボレーション）により、子どもの規範意識や社会的マナーの面で成果をあげていきたいと考えております。

教育委員会の方針の下、予算化して、幼稚園・小学校・中学校と縦のラインでマナーキッズ教室を開催するのは、全国で初めてであり、同様の動きが全国各地に広がることを期待しております。

皆様方のご支援をお願い申し上げます。

### 記

マナーキッズ教室開催の日時・場所（1学期実施分）

| 学校名    | 開催日           | 時間          | 対象・人数            |
|--------|---------------|-------------|------------------|
| 後地小学校  | 平成22年5月31日（月） | 10:40～12:10 | 4年生31名           |
| 上神明小学校 | 平成22年6月3日（木）  | 10:40～12:10 | 4年生28名           |
| 日野学園   | 平成22年6月7日（月）  | 10:40～15:10 | 5年生104名、6年生53名   |
| 戸越小学校  | 平成22年6月8日（火）  | 10:40～12:10 | 4年生58名           |
| 伊藤小学校  | 平成22年6月14日（月） | 10:40～15:10 | 3年生73名、4年生80名    |
| 伊藤小学校  | 平成22年6月15日（火） | 10:40～15:10 | 1年生62名、2年生55名    |
| 伊藤小学校  | 平成22年7月1日（木）  | 10:40～15:10 | 5年生64名、6年生62名    |
| 浜川小学校  | 平成22年7月9日（金）  | 10:40～15:10 | 2年生55名、4年生69名（仮） |

## 問い合わせ先

認定 NPO 法人マナーキッズプロジェクト 理事長 田中日出男

電話 03-3339-6535 F A X 03-6426-1580

URL <http://www.mannerkids.or.jp/>

E mail office365@mannerkids.or.jp

## ＜補足説明＞

### 1 品川区教育委員会と認定NPO法人マナーキッズプロジェクトのコラボレーションの趣旨とコラボレーションに至った経緯について

品川区では、足掛け4年にわたる準備期間を経て、平成18年4月より、全ての小中学校で小中一貫教育をスタートさせました。また、将来にわたり教養豊かで品格のある人間形成を目指し、児童・生徒一人一人が自らの在り方や生き方を自覚し、生きる道筋を見付けながら自らの人生観を構築する基礎となる資質を育て、能力を身に付けさせる「市民科」を創設しました。

最近の子ども達の傾向をみると、将来についての夢をもてないだけでなく、規範意識や社会的マナー、公共心が低下しているとする指摘が極めて多くあります。このような状況の原因を突き詰めて考えてみますと、教師も含めて私たち大人の問題が浮かび上がってきます。学校は目の前の子どもの姿を正しく捉え、「望ましい生き方」の自覚や、「自分自身の生きる道筋を発見するための教養」の習得など、社会との関係における「我」を捉えさせてきたであろうかとの思いがあります。このような考え方から、品川区では、「市民」を広く社会の形成者という意味で捉え、社会の一員としての役割を遂行できる資質・能力とともに、確固たる自分を持ち、自らも社会的に有意な存在（社会の中の個）として意識しながら生きていける「市民性」を育てる学習を小中一貫教育において創設しました。

「市民科」は、従来の道徳、特別活動、総合的な学習の時間を統合したもので、児童・生徒に自己のゆるぎない信念と理想をもたせるとともに、社会の一員として義務と責任を果たし、常に自己改革を図りながら、自らの生き方に意味付けを行うことのできる資質・能力を身に付けさせることをねらいとしております。

「市民科」では、義務教育9年間を通して市民性を身につけられるよう、5領域15能力を設定してカリキュラムを構造化しております。その5領域とは、①自己管理領域、②人間関係形成領域、③自治的活動領域、④文化創造領域、⑤将来設計領域です。これらの領域は相互に関連の深いものですが、指導する内容がきちんと身につくように数時間のまとまりのある単元構成で行えるようにしております。単元のねらいに応じて、例えばコミュニケーション力などの社会的スキルの形成を重視します。人間関係形成や自治的活動、文化創造など市民性の基礎・基本は実際の活動を通して身につけることを重視します。さらに将来に向けて必要な社会的な知見の獲得を重視します。

また、それらが、子どもの成長とともに身についた力として高まっていくように、義務教育9年間を、1・2年生、3・4年生、5・6・7年生、8・9年生に分けて発達性を考慮してカリキュラムを構成しております。

一方、認定NPO法人マナーキッズプロジェクトは、スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、＜体・徳・知＞バランスのよい子どもを育てることを目的としております。平成17年4月に発足した財団法人日本テニス協会マナーキッズ

テニスプロジェクトが原点で、平成22年4月1日より、財団法人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクトは、認定NPO法人マナーキッズプロジェクトが主催することに決定致しました。

NPO法人が認定NPO法人に認定されたのを契機に主催者の変更を行うものです。プログラムは、子どもの体力・運動能力の低下に歯止めをかける<体育>、挨拶・礼儀作法の基本的マナーとスポーツマンシップを習得させる<徳育>、運動で知性を育む<知育>を考慮して組まれており、既に実施した全国各地の幼稚園・小学校他から高い評価を得ています。23都道府県87小学校、13幼稚園において体育、道徳、特別活動、総合学習他の時間を活用して、授業として採用されております。

マナーキッズプロジェクトは、スポーツや文化活動と日本の伝統的な礼法（小笠原流礼法鈴木万亀子総師範協力）とのコラボレーションに特徴があり、筑波大学大学院人間総合科学研究科 大森 肇准教授より、「マナーキッズテニス教室は、子どもの感情を改善する」との中間報告が行われております。

実践を通して挨拶・礼儀作法の基本的マナーを体得することを主眼においており、「マナーとルールは“人間力”の第一歩」と言われるように、市民性の基礎・基本を身につける役割の一翼を担うものと考えております。また、「三つ子の魂、百まで」と言われるように、幼少期から中学校まで一貫して日本の伝統的な礼法を体験できることは、「市民科」を補完するものとして非常に意義深いと考えております。

## 2 予算金額について

約100万円である。

## 3 今後の開催予定について

平成23年度につきましても、開催希望校を募集し、開催対象校を拡げたいと考えております。

## 4 マナーキッズテニス教室以外のコラボレーションについて

マナーキッズ教室の実施により、子どもの意識・態度の変容が期待されます。しかし、それが持続するためには、家庭、学校、地域社会でのフォローが不可欠です。そのような観点から、両者は、以下の諸点について共同して取り組みます。

### (1) 「マナーキッズカレンダー」について

マナーキッズ教室の効果を持続するためには、家庭内でのフォローが不可欠です。マナーキッズプロジェクトでは、保護者を巻き込むことを主眼にマナーキッズカレンダーを試作しました。今般、小学校のPTA有志にモニターをお願いし改善点等の指摘を行って頂き、実用化に向けての検討を行います。

### (2) マナーキッズ教室の中身・内容を学校がフォローできる手法開発について

マナーキッズ教室の効果を持続するためには、学校でのフォローが不可欠です。マナーキッズ教室の中身・内容を学校がフォローできる手法開発について両者が協力して取り組みます。

### (3) 「マナーコミュニティ」構想について

認定NPO法人マナーキッズプロジェクトは、「マナーコミュニティ」の商標登録取得を契機に地域・街ぐるみ「挨拶運動」を行う市区町村を募集しています。

品川区においては、第一段として中学校学区でのマナーコミュニティ活動展開の可能性について検討します。

また、マナーコミュニティ活動に関連し、認定NPO法人マナーキッズプロジェクトは、地域商店街の活性化に結びつけるサイモンズ・ポイントシステム（業種を超えた共有ポイント、失効ポイントをNPO他に対する社会貢献に活用）との連携を模索中です。当該地区の商店街を対象にサイモンズ・ポイントシステム導入の可能性について検討します。

## 5 マナーキッズプロジェクトの参加者について

マナーキッズテニス教室は、平成22年3月末現在、43都道府県において、431回、約31,404人の幼稚園園児・小学生児童が参加しました。

また、サッカー、野球、ラグビー、ミニバスケット、バレー、スナッグゴルフ、柔道、剣道、空手、相撲、音楽、中学校礼法指導等領域が拡がっており、57回、11,393人、合計488回、42,797人が参加しました。

以上